



# 平成22年度宮城支部事業計画(案)について

平成22年度 事業計画案（宮城支部）

項 目	実 施 内 容 等
1. 保険運営の企画	<p>○保険者機能の発揮による総合的な取り組みの推進 地域の医療費や健診データを分析するとともに、地域の実情を踏まえ、加入者の疾病の予防や健康増進、医療の質の確保、医療費適正化のため保険者として総合的な取り組みを推進する</p> <p>(1) 調査研究の推進</p> <p>①健康リスク情報の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康保険委員研修や健康づくり指導でのテーマを明らかにするため、アンケート等を活用し分析を実施</li> <li>・地域の実情を分かりやすく公表するとともに、健康保険委員研修や健康づくり指導における反響等を併せて公表</li> </ul> <p>②ジェネリック医薬品使用促進のための調査・研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤師会会員からの情報収集</li> <li>・製薬メーカーからの情報収集、広報の連携</li> <li>・加入者の動向を調査</li> </ul> <p>(2) ジェネリック医薬品の更なる使用推進</p> <p>①広報の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、社会保険みやぎ、関係団体を通じた、積極的な広報の推進 (例：ジェネリック医薬品希望カード利用法、ジェネリック医薬品検索・試算サイト利用法等)</li> <li>・ジェネリック医薬品の使用に関する患者の意思表示を容易にする「希望カード」の協会窓口等における配布</li> </ul> <p>②使用促進の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤師会会員に対するジェネリック医薬品使用促進のアナウンス</li> <li>・国立病院等へのジェネリック医薬品使用促進の協力依頼</li> <li>・お薬手帳貼付用ジェネリック医薬品希望シールの作成</li> </ul> <p>③自己負担軽減効果の情報提供と浸透</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己負担軽減額等通知の効果の検証 (軽減効果額については、委託業者において2月のレセプトを使用し、6月中旬に算出終了)</li> <li>・軽減効果額について、社会保険みやぎ、健康保険委員広報誌等を通じて、加入者・事業主への広報を実施</li> </ul> <p>④宮城県後発医薬品安心使用促進協議会での使用促進に向けた意見具申</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品に関して協会の活動状況を報告し、保険者の見解を積極的に発言</li> </ul>

	<p>(3) 関係方面への積極的な発信</p> <p>①宮城県保険者協議会、地域職域連携協議会等を通じた保険者間の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険者協議会を通じた各保険者への各種事業の提案</li> <li>・地域職域連携協議会を通じた情報提供等による連携強化</li> </ul> <p>②三師会への協会活動の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に協会の活動内容の情報提供を実施</li> </ul> <p>③経済団体・社会保険労務士会を通じた定期的な協会活動の広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会報誌への事業広報の掲載依頼</li> <li>・法改正時等に伴う内容の情報提供</li> </ul> <p>(4) 健康保険委員の組織体制作り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年金事務所管轄毎に地区委員会の設置を検討</li> </ul> <p>(5) 加入者に響く広報の推進</p> <p>①健康保険委員を通じた事業広報や健康づくり事業の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションツール「だてっこみやぎ」の充実</li> <li>・研修会開催による情報提供</li> <li>・モニターとしての各種アンケートの実施</li> <li>・健康保険委員用「てびき」の法改正に合わせた作成、更新</li> <li>・情報提供としてのメールマガジンを毎月配信</li> </ul> <p>②ホームページ・携帯サイトによる加入者への情報提供の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にメンテナンスを行い、最新の情報を加入者・事業主に提供</li> </ul> <p>(6) 被用者保険の受け皿としての運営</p> <p>①支部財政の把握と予測策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支部決算の検証</li> <li>・支部財政見通しの作成</li> </ul>
2. 健康保険給付等	<p>○健康保険事業の総合的な推進</p> <p>加入者等の意見・ニーズを把握してサービス向上に努め、お客様満足度を高める一方、厳格な審査や効果的な点検を行い、健康保険事業として総合的な改善を推進する</p>

(1) サービスの改善と向上

① サービス向上のための取組

- ・お客様満足度調査に基づくサービスの向上
- ・申請書類の配備場所の拡大
- ・インターネットを活用した医療費の情報提供サービスの促進
- ・任意継続被保険者保険料の口座振替の利用促進
- ・任意継続被保険者保険料還付未請求者への定期的な請求勧奨
- ・任意継続被保険者期間満了者へ事前のお知らせの送付
- ・新規適用事業所向け「てびき」の作成
- ・支部業務案内パンフレットの作成

② 年金事務所等への窓口設置

- ・県内6事務所への協会窓口の設置の継続と窓口の在り方の検討

(2) 健康保険証の検認

① 被扶養者資格の再確認業務の実施

- ・二重加入者の被扶養者（異動）届の提出徹底

② 資格喪失時の保険証の回収強化

- ・任意継続被保険者の資格喪失及び取消者の未回収分について文書等による督促

(3) 適正な給付業務の推進

① 申請の受付から給付振込までの適切な期間管理をサービススタンダードとして定め、着実な処理を実施

② ブロック業務改革会議において定めた「チェック体制の標準化」に基づき、業務の正確性・効率化の向上を図り事務処理誤りの防止に努める

(4) 船員保険の業務体制の確立

- ・船員保険部と支部担当者及び事務所窓口との迅速な対応

(5) レセプト点検の効果的な推進

① システムによるレセプト抽出機能の活用と点検技術のレベルアップ

- ・内容点検での自動点検及び任意汎用抽出作業の専門チームを編成することでの効果的抽出条件の設定による効果額の向上
- ・被保険者1人あたり目標点検効果額
  - ・資格点検 2, 250円以上
  - ・内容点検 3, 000円以上
  - ・外傷点検 350円以上

	<p>(6) 返納金債権の早期回収に向けた管理体制の強化  ①21年度のパイロット事業の成果を踏まえながら宮城支部としての体制を検討する</p>
<p>3. 保健事業</p>	<p>○保健事業の総合的かつ効果的な推進  健診及び保健指導を中核として、健康づくり事業を適切に組み合わせ、「健康づくり推進協議会」等による地域特性を踏まえた保健事業の検討と総合的かつ効果的な推進</p> <p>(1) 特定健康診査及び特定保健指導の推進  ①加入者家族の受診券の交付手続きの簡素化  ・申請書方式から受診券送付方式への変更  ②特定保健指導アウトソーシングの本格稼働  ・21年度実施の成果を踏まえ、協会保健師がカバーしきれない地区の保健指導を強化  ③事業主健診データの取得増加策の検討  ・健診実施機関、事業主の理解を得て事業主健診データを取得する仕組みづくり</p> <p>(2) 健診  ①被保険者（40歳以上）（受診対象者数：205,394人）  ・生活習慣病予防健診 実施率：50.3%（実施見込者数：103,400人）  ・事業者健診データ 取得率：1.0%（取得見込者数：2,000人）  ②被扶養者（受診対象者数：80,204人）  ・特定健康診査 実施率：25%（実施見込者数：20,000人）</p> <p>(3) 保健指導  ①被保険者（実施対象者数：21,080人）  ・特定保健指導 実施率：22.3%（実施見込者数：4,500人）  （内訳） 協会保健師実施分 19.9%（実施見込者数：4,200人）  アウトソーシング分 2.4%（実施見込者数：500人）  ②被扶養者（実施対象者数：2,460人）  ・特定保健指導 実施率：2.0%（実施見込者数：50人）</p> <p>(4) その他の保健事業  ①経済団体等各種研修会での健康づくり指導の取組  ・生活習慣病予防健診・健診後の個別保健指導に関する普及啓発、職場の健康づくり等をアプローチ  ②一次予防を中心とした健康づくり事業の推進  ・ホームページを活用した禁煙への取組み（3か月ごとに参加者をサポートし禁煙成功者の増加を図る）</p>

#### 4. 組織運営及び業務改革

##### ○コスト削減と業務効率が強化された組織運営

協会設立1年を経過した中で、一層のコスト削減と効率化による組織基盤の強化を図る

##### (1) 組織や人事制度の適切な運営

###### ①協会ミッションや目標の実行性向上

- ・支部ミッションに沿った組織の改編
- ・支部内連携強化
- ・個人別の月次目標管理スケジュール表の運用

###### ②コンプライアンス・個人情報保護の徹底とリスク管理

- ・定期的な研修等の実施による法令・規程等の遵守徹底
- ・リスク棚卸と自店監査の実施
- ・リスク・コンプライアンス委員会の定期的開催による情報共有

###### ③職場環境整備と健康増進

- ・潤いのある職場環境作り
- ・健康づくり活動の展開

##### (2) 人材育成の推進

###### ①繁忙期、災害時に対応できる複数業務スキルの習得推進

- ・個人別業務習得カルテによるフレキシブルな要員体制の構築

###### ②CS活動の推進

- ・実務的なCS研修の実施

###### ③業務スキルのレベルアップ

- ・各事業単位に計画的な勉強会・研修を実施
- ・自学自習の風土づくり

##### (3) 業務改革の推進

###### ①ブロック及び支部の業務改革会議による創意工夫の提案・検討

- ・業務の簡素化と確認体制強化の確立
- ・事務ミスゼロを目標とした支部キャンペーンの展開

###### ②アウトソーシングの拡大と業務処理の安定化

- ・新たな委託業務の選定
- ・処理基準の高度化と安定化

###### ③時間外勤務の縮減

- ・時間外勤務の更なる縮減を目指した業務体制の構築

(4) 経費の削減の推進

①固定費・変動費の見直し

- ・賃借料、保管料の値下げ

②消耗品の適切な在庫管理と削減策の推進

- ・ペーパーレス化への取り組み

③経費の予算実績の管理

- ・月次決算を踏まえた事務経費と業務経費の管理

## 特別計上分に係る経費調べ(平成22年度予算)

・その他保健事業 ・医療費適正化対策  
 ・支部独自のサービス向上のための取組み

04宮城

支部

(単位:千円)

事項		目標(実施件数等)	経費(全体)	
				うち郵送費
保 そ の 健 の 事 業 他	経済団体等各種研修会での健康づくり指導の取組み	商工会議所主催の会議での指導 6商工会議所 年2回 100名 × 6会議所 × 2回 =1,200名 リーフレット作成@200円 × 1,200部	240	0
	HPを活用した禁煙推進への取組み	1回定員20名…年間3回実施	0	0
医 療 費 適 正 化 対 策	お薬手帳用ジェネリック医薬品希望シールの作成	10万枚 @10円 × 100,000枚 = 1,000,000円	1,280	280
	薬剤師会会員等からの情報収集	アンケート実施 1,500件 × 2回	585	555
向 支 上 部 の 独 た 自 め の サ 取 組 み ス	【広報】定期的に全事業所、任意継続被保険者宛に送付するチラシ等印刷及び業務用のリーフレットの作成等	納入告知書同封チラシ毎月送付年12回、任意継続被保険者宛送付するチラシ年4回 支部業務案内リーフレット5,000部	4,040	
	新規適用事業所用手引きの作成	新規適用事業所用手引き作成経費 @ 300円 × 2,000部 = 600,000円	600	0
	特定健康診査実施機関一覧表の作成	A3(一色刷)6頁 @ 10円 × 100,000部 = 1,000,000円	1,000	0
合 計			7,745千円	835千円